

健康

くらし

女性を悩ます病気

<3>

子宮筋腫は、子宮に良性のこぶ(腫瘍)ができる病気だ。30歳以上の女性の5人に1人にあるといわれるほど多い。順天堂医学部付属順天堂医院(東京都)産婦人科の北出真理准教授は「子宮筋腫のできる位置によるが、生理の量が多くなるのが特徴」とい



目まいが起る人もいる

う。子宮筋腫の発症のピークは、30〜40代だ。女性ホルモンの一つであるエストロゲンがこぶの発育を促進させる要因といわれるが、詳しい原因はよく分かっていない。

子宮筋腫は、できる部位により三つに大別できる。最も多いのは、全体の60%ほどを占める筋層内筋腫というタイプで、筋肉の層の中にできた子宮筋腫が発育する。大きくなると子宮内腔を變形させることもある。

漿膜下筋腫というタイプは全体の30%ほどで、子宮の外側を覆っている漿膜という膜のすぐ下にでき、子宮の外側に突き出るように成長する。

反対に、子宮内腔に突き出るように発育するタイプを粘膜下筋腫といい、これは全体の10%未満だ。まれにだが、これが茎を伸ばして発育すると筋腫核

過多月経で疲れやすく

子宮筋腫

が子宮口から腔に出してしまふ筋腫分娩が起る場合がある。

症状は、筋腫のできる部位や大きさによって異なる。症状がない例も少なくないが、最も多いのが過多月経だ。「1時間ごとにナプキンの交換が必要」「レバーのような血の塊が出る」「外出できないほど量が多い」などの症状があったら、クリニックや検診で子宮筋腫の有無を確認してもらおうのが望ましい。

過多月経は、子宮筋腫のために月経時に剝がれる子宮内膜の表面積が広くなり経血量が増えることで起こり、特に筋層内筋腫や粘膜下筋腫(筋腫分娩)でなりやすい。経血量が増えると二次的に鉄欠乏性貧血となり、疲れやすい、目まいがする、息切れするといった症状が表れる。

一方、大きな漿膜下筋腫などは、周辺の臓器を圧迫して頻尿や腰痛、便秘などの原因となり得る。

北出准教授は「粘膜下筋腫の場合は子宮内腔が変形することにより、受精卵の着床が妨げられるため不妊の原因になることもあります」と注意を促している。